

平成21年3月24日
於
府中市立教育センター

平成21年第3回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成21年第3回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成21年3月24日(火)
午後1時30分
閉 会 平成21年3月24日(火)
午後3時24分
- 2 会議録署名員
委 員 谷 合 隆 一
委 員 北 島 章 雄
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美惠子 委 員 谷 合 隆 一
委 員 北 島 章 雄 教育長 新 海 功
- 4 欠席委員
委員長職務代理者 崎 山 弘
- 5 出席説明員
教育部長 糸 満 純一郎 文化スポーツ部長 大 野 明
教育部副参事 酒 井 泰 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志
総務課長 三ヶ尻 秀 男 美術館副館長 石 井 順 子
総務課長補佐 河 野 孝 一
学校耐震化等推進 宮 本 正 男
担当主幹
学務保健課長 田 中 陽 子
給食担当副主幹 新 藤 純 也
指導室長補佐 佐々木 政 彦
統括指導主事 花 田 茂
指導主事 長 田 和 義
指導主事 出 町 桜一郎
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第7号議案

府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程

第8号議案

府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

第9号議案

府中市立八ヶ岳府中山荘条例施行規則の一部を改正する規則

第10号議案

府中市教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則

第11号議案

平成21年度学校医等の委嘱について

第12号議案

平成21・22年度府中市体育指導委員候補者について

第13号議案

第4期府中市生涯学習審議会委員候補者について

第14号議案

平成21年度府中市美術館企画展観覧料について

第15号議案

府中市教育委員会事務局職員の人事異動について

第4 報告・連絡

- (1) 平成21年度八ヶ岳移動教室実施日程表について
- (2) 平成21年度日光林間学校実施日程表について
- (3) 平成21年度八ヶ岳自然教室実施日程表について
- (4) 平成21年度府中市学校給食会事業計画について
- (5) 府中市コミュニティスクール検討委員会の設置について
- (6) 第3期府中市生涯学習審議会答申について
- (7) 第2次府中市生涯学習推進計画（案）について
- (8) 企画展「山水に遊ぶー江戸絵画の風景250年」について

第5 その他

- (1) 教育課程について

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成21年第3回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会議録署名員の選定は、谷合委員と北島委員にお願いします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日とします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の定例会において、崎山委員が都合により欠席する旨の届け出を受けておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、在任教育委員の過半数の出席を得ていますので、この定例会は有効に成立いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日は追加議案も含めまして、議案が9件ございます。第15号議案につきましては人事案件ですので非公開扱いとし、議案進行の都合上、最初の審議としてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第15号議案 府中市教育委員会事務局職員の人事異動について

（以下、非公開会議により非公開）

午後1時32分中断

午後1時42分再開

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） それでは定例会を再開いたします。

傍聴の希望者が3名おりますが、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

傍聴の方に申し上げます。教育委員会は1時半から開会をいたしましたが、本日の追加議案である第15号議案は人事案件でしたので、非公開で行いました。ただいまの議案から公開で再開いたします。

なお、第11号、第12号及び第13号議案につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、配布資料を省略させていただいております。皆様には、議案のかがみのみで配りしておりますことをご承知おきください。

議案の審議に入ります。

_____ ◇ _____

◎第7号議案 府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程

◎第8号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

◎第9号議案 府中市立八ヶ岳府中山荘条例施行規則の一部を改正する規則

○委員長（久芳美恵子君） 第7、8、9号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） それでは説明をお願いいたします。

○総務課長補佐（河野孝一君） それでは、ただいま議題となりました第7号議案、府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程、第8号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程、並びに第9号議案、府中市立八ヶ岳府中山荘条例施行規則の一部を改正する規則につきましてご説明いたします。

まず、3議案共通の改正事項でございますが、いずれも旧学校保健法が学校保健安全法と改題され、平成21年4月1日に施行されることに伴い、旧法の「伝染病」の文言が新法で「感染症」と改められるので、現在「伝染病」の文言が含まれる規則、規程について、文言を「感染症」に改めるものでございます。

資料をご覧ください。第7号議案、府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程では、別表1の(6)の項校長の欄中「伝染病」を「感染症」と改めます。

第8号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程では、資料の別表第2の個別権限事項表の学務保健課学務係の第39項中「伝染病」を「感染症」に改めます。

次に、第9号議案、府中市立八ヶ岳府中山荘条例施行規則の一部を改正する規則では、資料のとおり、第4条第4号の「伝染病」を「感染症」と改めるものでございます。

続きまして、第8号議案につきまして、もう一つ改正がございまして、第8号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程につきましてご説明いたします。

資料を再度ご覧ください。各課の職務権限について、追加、削除等、整理をするものでございます。

総務課総務係では、個別権限事項表の第66項及び第67項に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項を追加いたします。

指導室指導係の職務権限事項では、特別支援学級用図書の採用承認は教育委員会に権限があり、実態に合わせ削除をいたします。また、「府中市学校教育プラン21」の第3期事業実施計画に合わせ、新規事業である環境教育推進事業と、事業を拡大した中学生職場体験学習に関する事項を追加いたします。

指導室教育センターの職務権限事項では、当初、中学校に限定されていたスクールカウンセラーが小学校にも導入されているため、実態に合わせ「中学校の」の文言を削除いたしたところでございます。

以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ご説明ありがとうございました。

第7号、第8号、第9号議案に共通するものは、旧学校保健法の改正に伴う「伝染病」から「感染症」への文言変更、そして第8号議案に関しましては、個別の職務権限に関する事項の削除及び追加ということでございますけれども、いかがでございましょう。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、第7号議案、府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程、第8号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程、第9号議案、府中市立八ヶ岳府中山荘条例施行規則の一部を改正する規則につきまして、全員異議なしというこ

とでございますので、原案どおり決定といたします。



◎第10号議案 府中市教育委員会の権限委任に関する規則の
一部を改正する規則

○委員長（久芳美恵子君） 次に、第10号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○総務課長補佐（河野孝一君） それでは、第10号議案、府中市教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則につきまして、ご説明いたします。

本案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項では、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する、もしくは臨時に代理させることができることを規定しております。これを受け、府中市教育委員会の権限委任に関する規則に第6条として新たに「臨時代理」の規定を設けることにより、緊急の事態が発生し、かつ教育委員会を招集する暇がないときに、教育長が臨時に議案の処理を行うことを可能とするものでございます。臨時代理により処理された議案につきましては、直後の教育委員会に報告し、承認をお願いすることになります。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 府中市教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則でございます。

第6条の「臨時代理」という項目でございますが、いかがでございましょうか。何かご質問、ご意見はございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（新海 功君） 臨時代理の規定に関して、他市の状況がもし把握できているようでしたら、それをご説明いただきたいと思えます。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。お願いいたします。

○総務課長（三ヶ尻秀男君） 臨時代理の規定につきましては、他市の教育委員会の権限委任に関する規則等の中に入っております。調べたところ、26市中、府中市を入れて2市にこの規定が入っておりませんが、その他の24市はすべてこの規定を整備しているところでございます。

ここにありますように、緊急に処理しなければならない必要が生じて、なおかつ教育委員会を招集する暇がないようなとき、このような場合に限定して、教育長が臨時に代理をすることができる、そういう規定を法律に基づきまして新たに規則の中に追加したものでございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。

○委員（谷合隆一君） この教育委員会を招集する暇がないというのは、一度はそれを確認するということによろしいのでしょうか。皆さんに集まれるか集まれないかということを確認した上で、集まれば教育長に一任すると。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでございましょう。

○総務課長（三ヶ尻秀男君） 確認して集まれないときということもございますが、例えば人事等につきましては、非常にタイトなスケジュールの中で実施する場合がございますので、そ

ういったものにつきましては、この規定を使いまして、臨時代理という対応をとることがあると。通常は臨時の委員会を開催しまして、議案という形の中で検討していただくわけでございますけれども、非常に時間的に難しいという場合も考えられますので、そういうものを想定して、法律の中にその規定がございますので、当市の規則の中にも同様の規定を盛り込むものでございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。

○委員（谷合隆一君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。

特にございませんようでしたら、第10号議案、府中市教育委員会の権限委任に関する規則の一部を改正する規則について、原案どおり決定といたします。



◎第11号議案 平成21年度学校医等の委嘱について

○委員長（久芳美恵子君） 第11号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） ご説明をお願いいたします。

○学務保健課長（田中陽子君） 第11号議案、平成21年度学校医等の委嘱につきまして、ご説明させていただきます。幼稚園と各小・中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱につきましては、学校保健法第16条の規定に基づき教育委員会が行うものでございます。平成21年度におきましては、内科医が36名、精神保健科医2名、眼科医12名、耳鼻科医8名、歯科医36名、薬剤師34名、合計128名の先生方の委嘱をお願いするものです。

このたび学校医等として契約していただいております先生方につきましては、府中市医師会、府中市歯科医師会、府中市薬剤師会からそれぞれご推薦いただいた方々でございます。

なお、委嘱の期間は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間を予定しております。

また、平成21年度から新たに学校医等としてお願いいたします先生方でございますが、最後のページをご覧ください。最後のページの平成21年度学校医等新旧変更一覧表を見ていただければと思います。平成21年度は歯科医の石井修先生、薬剤師の下村徳子先生、宮崎嘉子先生を新たに学校医としてお願いいたします。その他の先生方につきましては、平成21年度も引き続きお願いしてまいりたいと考えております。

また、規約で定めてございます定年でおやめになる先生は、今年度はいらっしゃいません。

また、歯科医で小柳幼稚園の臼井先生、薬剤師で第九小学校の五関先生、同じく薬剤師で第八中学校の綾部先生は、ご都合でご退任されます。3人の先生方につきましては、府中市教育委員会より感謝状と記念品を贈るよう、今、準備を進めているところでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。事務局の説明が終わりましたが、何かご質問ございますでしょうか。

私の方から一つ聞かせてください。今のご説明の中では、今年新しく学校医になれる方が3名ということで、あとは平成20年度からの引き続きという方でございますが、委嘱期間は

大体1年ごとということのようでございますが、定年を60歳と考えて、60歳までおやりいただく方が多いのでしょうか。

○学務保健課長（田中陽子君） 定年でございますが、一応、歯科医師会、医師会、薬剤師会とお話いたしましたして、70歳という定年を設けております。ただ、耳鼻科医の先生は非常に少なく、現在8名の先生に3～4校ずつを持っていただいている現状がございますので、耳鼻科医の先生につきましては、70歳を過ぎても診ていただいているということがございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかにご質問等ございますでしょうか。

それでは、第11号議案、平成21年度学校医等の委嘱について、全員異議なしでございますので、原案どおり決定いたします。



◎平成21・22年度府中市体育指導委員候補者について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、第12号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは、第12号議案、平成21・22年度府中市体育指導委員候補者について、生涯学習スポーツ課よりご説明いたします。

体育指導委員は、スポーツ振興を目的として、昭和37年府中市教育委員会規則第2号、府中市体育指導委員に関する規則に基づき設けられた非常勤特別職として、教育委員会の委嘱を受けて市民のスポーツ活動の振興を図り、スポーツについての啓発、理解に努め、また、市と市民のスポーツ事業に指導、助言を行いながら、様々な形で教育することを職務としております。

任期は2年で、今回は平成21年4月1日から平成23年3月31日までが、その期間となります。

また、定員は25人以内となっておりますが、これまで23人で活動してきましたが、5人が辞退、あるいは年齢要件で退任のため、18人が再任、そして新たに3人の方が就任されて、合計21人となっております。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

それでは、体育指導委員候補者につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 人数に関しまして、平成20年度までは23名の体育指導委員の方にいろいろやっていたいき、平成21・22年度は21人になるということですが、人手が足りないといったことにはならないのでしょうか。また、本当は25名の定員まで集めたいところ、集まらなかったということなのではないでしょうか。その辺を教えてください。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） まず、今まで23人だった理由なのですが、文化センターが11か所ありまして、2人ずつ担当で22人プラス全体的に1人という形でやっておりました。しかし、先ほど申しあげましたとおり、5人の方が健康上の理由、年齢要件という

理由で退任されて、推薦等いろいろ話し合いをしたのですけれども、やはりなかなか忙しい職務ですので集まらず、若干少ない人数となっていると考えております。

以上です。

○委員（谷合隆一君） これは途中採用というのも考えられるのですか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 21人で不足といいますか、できないということはないのですね。文化センターが11ありますから、1カ所は1人になってしまいますが、全体的に2人ずつということですので、今のところは、その途中採用ということは考えておりません。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） もう1点だけ質問させてください。今、11の文化センターというお話でしたけれども、これははっきりとこの文化センターが1人になってしまうということではないですね。10カ所が2名で1カ所が1人ということではなくて、文化センターをまたがって、いろいろなところへ応援といいますか、いろいろお手伝いをいただけるということによるしいですね。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） そのとおりです。文化センターとか、あるいはその近くに6カ所の地区体育館というものがありますので、一応の地区割をいたしますけれども、例えば「みんなのスポーツデー」とか「レクリエーションフェスティバル」とか、いろいろなところに派遣要請される場合もあるし、また、自主事業もありますので、全体で、みんなでやるということです。

○委員長（久芳美恵子君） ご自分の時間を割いていただいて、このように指導委員として活動していただけるのは、大変ありがたいことだと思いますので、できればまた候補者が見つかるといいと思います。

それでは、第12号議案、平成21・22年度府中市生涯学習指導委員候補者につきまして、異議なしでございますので、原案どおり決定をいたします。



◎第13号議案 第4期府中市生涯学習審議会委員候補者について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、第13号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは、第13号議案、第4期府中市生涯学習審議会委員候補者について生涯学習スポーツ課よりご説明いたします。

生涯学習審議会委員は、府中市生涯学習審議会条例、及び府中市生涯学習審議会条例施行規則に基づき設けられた非常勤特別職として、審議会は教育委員会の諮問に応じ、市民の生涯学習の振興に関する事項について調査・審議し、その結果を答申し、また、自ら建議することもできる機関です。また、生涯学習審議会の中に社会教育分科会を置き、社会教育法に定められた社会教育委員（定数8人以内）がこの一部になります。

任期は2年で、今回は平成21年4月1日から平成23年3月31日がその期間となります。

また、定員は15人となっております。今回、6人の方が再任され、そして新たに9人の方が新たに就任されて、合計15人となっております。ただし、学校関係者の方は、慣例で4月

の校長会でご推薦いただくことになっておりますので、そこは未定となっております。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 説明をいただきました。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

一つよろしいでしょうか。選出分野というところがございますが、公募以外の方は、すべてそれぞれの選出された分野が書いてございますが、公募の方と学識経験者の方、もしわかっていれば、分野等を教えていただければと思います。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 学識経験者の方は、おひとは青山学院大学の名誉教授でいらっしゃるしまして、国際関係と申しますか、特にロシアの社会についてご造詣の深い方であります。それからもうひとは、東京外国語大学の教授でいらっしゃるしまして、社会教育の関心に学識が深い方でいらっしゃいます。公募の方につきましては、学校の先生を定年退職された方、あるいは職業訓練や研修等に從事されている方、それから会社員の方という構成になっております。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。生涯学習でございますから、様々な分野の方がいらしていただいております、いい審議会になるであろうなと思いました。

ほかにいかがでございますでしょうか。ご質問、ご意見等ございますか。

ございませんようですので、第13号議案、第4期府中市生涯学習審議会委員候補者につきまして、全員異議なしでございますので、原案どおり決定といたします。



◎第14号議案 平成21年度府中市美術館企画展観覧料について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、第14号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは、ただいま議題となりました第14号議案、平成21年度府中市美術館企画展観覧料につきましてご説明いたします。

初めに、1の企画展開催日程及び観覧料でございますが、ブラウン社で長年数多くの製品をデザインしてきたデザイナー「ディーター・ラムスの時代展」や、イギリスのマンチェスター市立美術館の膨大なコレクションの中から、芸術絵画の印象から誕生までを紹介する、市制施行55周年「ターナーから印象派へ」展などの5本の展覧会で、記載の日程及び観覧料でございます。

次に、2の団体料金等につきましては、(1)の企画展の団体観覧料(20人以上)につきましては、1人1回につき、各展覧会個人観覧料を2割引とするものでございます。

次に(2)のメンバーシップ料金につきましては、記載のとおりでございます。

よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 平成21年度府中市美術館の企画展観覧料についての説明でございました。何かご質問、ご意見等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、第14号議案、平成21年度府中市美術館企画展観覧料について、全員異議なしでございますので、原案どおり決定といたします。よろしく願いいたします。

◇

◎平成21年度八ヶ岳移動教室実施日程表について

◎平成21年度日光林間学校実施日程表について

◎平成21年度八ヶ岳自然教室実施日程表について

○委員長（久芳美恵子君） 次に報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）、（2）、（3）につきまして、学務保健課お願いいたします。

○学務保健課長（田中陽子君） それでは、報告・連絡（1）八ヶ岳移動教室、（2）日光林間学校、（3）八ヶ岳自然教室の日程についてご説明いたします。お手元の資料にございます日程で開催したいと考えております。

本年度は休日等の関係で非常に日程がとりづらくなっておりまして、八ヶ岳自然教室は4月22日から始まりまして、小学校の八ヶ岳移動教室が10月15日までという長期の形で八ヶ岳の事業を実施してまいります。

また、日光林間学校の方は、夏休みにかけて実施してまいります。

本年度もそれぞれの運営委員会を設置いたしまして、中身の濃い、そして安全に配慮した宿泊体験学習を行ってまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

なお、今年度、教育委員会の視察につきましては、日光を予定しておりますので、その折にはお知らせいたしますので、よろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 八ヶ岳移動教室、日光林間学校、八ヶ岳自然教室の実施の日程でございます。いかがでございましょう。何かご意見、ご質問ございますか。

例年そうだと思いますけれども、この日程の設定というのは、学校の希望と、その施設の混み具合とございますか、それによって調整していただいているわけでございますね。

○学務保健課長（田中陽子君） はい。小学校と中学校、それぞれ実行委員会がございますので、前年の実行委員会でお話をいたしまして、それぞれの学校からご希望をいただいて調整を行っております。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

何かご質問、ご意見ございますか。

それでは、充実したプログラムを、今年もまたよろしくをお願いいたします。

それでは、報告・連絡（1）、（2）、（3）について了承いたします。

◇

◎平成21年度府中市学校給食会事業計画について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡（4）につきまして、学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹（新藤純也君） それでは、平成21年度府中市学校給食会事業計画及び給食会給食費会計予算につきまして、資料に基づきご報告いたします。

1の概要でございます。府中市学校給食会では、より「安全でおいしい学校給食の提供」を目標としています。食材の選定では、安全かつ安心を基本に、原材料は国産品を、調味料は無添加の非遺伝子組換え品を使用するとともに、生産者の顔が見える府中産野菜の積極的な活用に努めてまいります。

調理では、素材からの手づくりに努めるとともに、衛生面など環境整備を進めてまいります。

献立では、安全かつ安心な食材選定や手づくり調理のもと、栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めてまいります。

学校給食は、教育面からも大切な役割を担っています。そのため、学校給食事業の運営に当たっては、学校や保護者、そして地域の皆様と連携を図るとともに、栄養士や調理員による授業、試食会などへの参画、給食時間における児童・生徒への巡回指導など、給食を「生きた教材」として活用する中で、引き続き食育の推進に努めてまいります。

次に、2は給食費でございます。保護者からご負担いただいております給食費については、全額、食材料の購入に充てておりますが、購入に当たりましては、安全で良質、そしてできるだけ廉価な物資を厳選してまいります。

なお、給食費月額につきましては、平成21年4月から、次の表のとおり改定いたします。また、市から牛乳代と調味料の補助金が交付されておまして、平成21年度から23年度までは、給食費改定に伴う保護者の負担軽減を図るため、緊急経済・生活支援対策事業として、牛乳代補助は従来の1本11円に加え3円が補助され、調味料補助は給食費月額の2.2%以内が交付される予定でございます。なお、予算額で見ますと、市からの補助額は約5,630万円となります。

次に、3は給食実施計画でございます。学校数につきましては、小学校19校、中学校11校で、年間の標準給食回数は、平成21年度からの学習指導要領改定による見直しを行い、小・中学校ともに2回増やしました。

2ページに移りまして、給食センターの稼働日数は、前年度同様でございます。

次に、4は衛生管理、栄養技術研修計画でございます。栄養士、調理員について、記載のと通りの研修を計画しております。また、そのほかに東京都や市が開催いたします様々な研修がございますので、できるだけ多く参加してまいりたいと考えております。これらの研修を通じて、より一層の資質の向上に努めてまいります。

次に、5は衛生管理実施計画でございます。毎月2回実施している腸内細菌検査を初めとする各種検査、調査を実施する中で、衛生管理を徹底し、事故防止を図ってまいります。

次に、6は施設及び設備の整備計画でございます。経年劣化の著しい調理場の整備を行うとともに、調理能力向上のための調理器具を設置し、給食センターの充実に努めてまいります。主な改修工事、調理機器の購入は、記載の通りでございます。

続きまして、4ページをお願いいたします。平成21年度府中市学校給食会給食費会計予算でございます。歳入歳出予算の科目及び説明部分につきましては、前年度同様でございます。内容につきましては、事業計画の2の給食費に係る数値を算出根拠といたしまして、歳入は主に保護者から徴収いたします給食費、市からの補助金、歳出は食材料費でございます。予算合計額は8億8,522万2,000円で、前年度比1億484万3,000円、13.4%の増額でございます。増額の主な理由は、給食費の改定と児童・生徒数の増でございます。

また、本事業計画及び予算につきましては、3月6日に府中市学校給食会理事会を開催いたしまして、ご審議いただき、ご了承いただいておりますことも、あわせてご報告いたします。

今後、保護者に対しましても、お知らせしてまいります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 府中市学校給食会事業計画についてご説明を受けました。いかが

でございましょうか。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） ご苦労さまです。

この給食に関しては、やはり安全、安心、それから栄養のバランスというのは大前提として、今までどおり子どもたちに給食を提供していただきたいのですが、これはお願いですけれども、その上でぜひおいしい給食を、給食の各メニューを、子どもたちが本当においしくて楽しみになるような給食を目指していただきたいなと思います。それによって食べ残し等も減るのではないかなと思いますので、ぜひ子どもたちが学校の思い出の中で給食がおいしかったということが残るような給食を目指していただきたいなと、今まで以上に目指していただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ご意見として承ります。

そのほかによろしいでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（北島章雄君） 歳入歳出のことで、給食費の未納があるわけですね。その未納を回収された分というのは、この歳入等の中には含まれないのでしょうか。単年度でやるから、それは要らないのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでございましょう。

○給食担当副主幹（新藤純也君） 今、委員さんご質問の未納分についてですが、未納につきまして、様々な未納対策をやっておりますので、未納ゼロを目指しているわけですが、やはり未納は発生しておるところでございます。今回の予算に関しましては、その給食費のところに過去の徴収率というものを加えて掛けまして、それを考慮しましてこちらの歳入と考えております。ですから、単年度で考えれば、毎年そのような形の計算で予算を組んでおりますが、やはり決算をやりますと、そこで努力いたしまして、できる限り決算では徴収、実際の調定に対しまして徴収率が上がるように努力して、それがあらわれるように頑張っていきたいと思えます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 本当に大変なことだと思えますが、よろしくお願いいたします。

私からお聞きしますが、地産地消ということで、野菜類を積極的に活用していただいているということですが、1点目は、野菜のほかに何か府中市産のものが食材として使われているのかということが1点です。

2点目としては、府中産野菜が、給食の野菜の全体の大体どのぐらいの量かというのが、もしおわかりになれば教えてください。はい、お願いします。

○給食担当副主幹（新藤純也君） 一つ目の府中産野菜についてですが、野菜のほかにどのようなものがあるかといいますと、キウイといった果物を使用しております。それから府中市産の黒米を使用しております。今回、地産地消の関係で、平成21年度は、できるだけ品数も割合も多く使用したいと考えておまして、農家の方の組合さんとまた協議を図りまして、新たなものを使っていこうということで、今いろいろ検討してございます。

現在、全体の使用量で、どのぐらい府中産の割合があるかといいますと、平成19年度の決算額であります。10.3%になっております。徐々にですが、上がっているという状況でございます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。子どもたちも、これが府中産だということでも食べられると、大変うれしいのではないかなと思います。先ほど説明のところにもありましたように、児童・生徒数も増加して、近隣のところでは軒並み減っているところに、府中市は増加しておりますので、給食の関係もいろいろまた大変だと思いますが、どうぞ、先ほど来のご意見もごさいます。よろしく願いいたします。

それでは、報告・連絡（4）につきまして了承いたします。



◎府中市コミュニティースクール検討委員会の設置について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡（5）について、指導室、お願いいたします。

○統括指導主事（花田 茂君） 府中市コミュニティースクール検討委員会の設置についてご説明いたします。

「府中市学校教育プラン21」では、「オンリーワンの学校をつくろう」、「開かれた学校づくり」の中に、地域が運営に参画する新しいタイプの公立学校の設置に向けて、研究を進めていくことが示されております。このことを受けまして、「府中市学校教育プラン21」事業実施計画第3期の重点的に取り組む課題の一つに、「学校運営に地域の意見を取り入れ、地域の学校として、学校運営連絡協議会を中心とした府中版コミュニティースクールを推進します」とあります。そこで平成21年度から、府中市コミュニティースクール検討委員会を設置し、府中市立学校におけるコミュニティースクールとしてのあり方の検討を行うものでございます。

本市における学校は、古くから地域に支えられ、地域の方も学校を自分たちの地域の学校として誇りにしてきたことがございます。PTAも、全市的な視野に立ったPTA連合会として組織的かつ精力的に活動しており、その歴史も古く、さまざまな実績を残しております。

コミュニティースクールの導入に関しましては、一昨年と昨年、開かれた学校づくり協議会などの場で、既に導入している三鷹市などを例に研究してまいりましたが、本市の状況を総合的に判断して、慎重な対応を求めるといった意見が多数を占めました。

そこで、地域との良好な協力体制をそのまま生かし、保護者や地域住民が学校づくりに参加することにより、本市の教育風土に合った独自の制度として実施したほうが、地域ニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させることが可能となると判断しました。

具体的には、府中市立学校の管理運営に関する規則第17条に基づき、現在、設置されています府中市立学校運営連絡協議会に一定の権限を付与し、「府中版コミュニティースクール」とするものでございます。

また、同設置要綱の改正を行いまして、同連絡協議会が学校の教職員の任命について市教育委員会に文書による意見具申や、あるいは学校評価の結果の報告を受けまして、教育課程やその他、教育委員会規則で定める学校経営の基本方針等について、その意思形成過程で校長に意見を述べるような権限を与えられるような制度の見直しを研究してまいります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。いかがでございましょうか。コミュニティースクール検討委員会が、この4月より設置されることについての説明でございしますが、ご質問、ご意見ございますか。はい、どうぞ。

○委員(新海 功君) コミュニティースクールについて、今、詳細な説明があったところですが、大事なことです、もう1回、重なる部分があるかと思いますが、再確認をしておきたいと思います。

まず、その方向性なのですが、先ほどあったように、府中市立学校の管理運営に関する規則第17条に基づき設置している「府中市立学校運営連絡協議会」、これに対して一定の権限を付与し、そのことで「府中市版コミュニティースクール」として実施をするというのが、一つの方向性として大事な部分かなと思います。

それから、これも先ほどの説明と重なる部分でもありますが、本市の学校というのは、古くから地域に支えられて、地域の方たちも学校を自分たちの地域の学校として誇りとしてきた、そういう伝統があるということです。これはPTAも然りということでもあります。したがって、コミュニティースクールの導入に関しては、本市の状況を総合的に判断して、現在の地域との良好な協力体制をそのまま生かし、保護者や地域住民が学校づくりに参画することにより、本市の教育環境に合った独自の制度として実施していくこととなります。これによって地域ニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映することが可能と考えて、行うということになります。

そうした検討の方向性は再確認しておきたいと思います。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

いかがでしょう。はい、どうぞ。

○委員(谷合隆一君) 1点、質問をさせていただきます。現在の府中市立学校運営連絡協議会に一定の権限を付与し、これを「府中版コミュニティースクール」とするという方向で、それについて検討する検討委員会を設置するということですね。この検討委員会の構成メンバーについては、どのようになるのでしょうか。

○委員長(久芳美恵子君) はい、お願いいたします。

○統括指導主事(花田 茂君) この構成メンバーにつきましては、10人を予定しております。小学校の校長、副校長、それから中学校の校長、副校長、PTA連合会の代表の方2名、それから学識経験者1名、教育委員会事務局の総務課・学務保健課の職員と指導主事というメンバーで実施をしていきたいと思っています。

○委員長(久芳美恵子君) どうぞ。

○委員(谷合隆一君) それについては、どういう流れでといいますか、例えば月に1回とかの会合を開いて、どんなタイムテーブルで、どのように決まっていくというのを、大まかでもいいですが、今、決まっている段階のことを教えてください。

○委員長(久芳美恵子君) はい、お願いします。

○統括指導主事(花田 茂君) 資料にお示しをさせていただいていますが、第1回目を4月28日に実施する予定としておりまして、現在のところ、おおむね6回開催する予定としております。2カ月に1回ぐらいの開催で、最終的に報告書をいただくということを考えております。内容的には「府中版コミュニティースクール」のあり方の検討と、それから学校関係者及び保護者等市民の方からの意見聴取、そして最終的に報告をいただくという、そういう大まかな流れでございます。

○委員(谷合隆一君) 検討委員会の構成メンバーは、現在の学校運営連絡協議会のメンバ

一とは重ならないですよ。その辺とのすり合わせはどのように進んでいくのかということまで質問をいたしました。

○**統括指導主事（花田 茂君）** まず、学校運営連絡協議会の委員の方について、直接このメンバーになっていただいておりますが、おそらく各学校で、例えばPTAの関係の方というのは、おそらくそのメンバーにかかわっている方が非常に多いと思いますので、それを踏まえてP連とは連絡・調整を図ります。

○**委員長（久芳美恵子君）** ということでございます。

ほかにかがでございましょうか。1点ですが、保護者等からの意見聴取ということがございますが、今、具体的にアイデアというか、どういう方法でというのはございますでしょうか。

○**統括指導主事（花田 茂君）** まだこれは検討委員会で検討していく内容ですので、具体的にどういう意見聴取をするかというのは、まだ決定しておりませんが、やはりコミュニティースクールのあり方について、広く意見を伺うということを考えております。

○**委員長（久芳美恵子君）** 保護者の方だけでなく、できればコミュニティースクールという名があるわけですから、地域の方々に学校に大変興味を持っていらっしゃる方々からもご意見を伺えるような場を設定していただければと思います。

ほかにかがでございましょうか。

それでは、報告・連絡（5）について了承いたします。



◎第3期府中市生涯学習審議会答申について

○**委員長（久芳美恵子君）** 次に、報告・連絡（6）につきまして、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○**生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君）** それでは、生涯学習スポーツ課より、第3期府中市生涯学習審議会答申について報告いたします。資料6をご覧ください。答申本体は、その後8ページありますが、このA4裏表で概要をつくりましたので、その概要に沿ってご説明申し上げます。

まず1と2の趣旨と諮問内容でございますが、平成20年4月に教育長より「第2次府中市生涯学習推進計画の策定にむけて～課題となっている「家庭教育支援」、「青少年の居場所づくり」、「学校と地域の連携」についての提言」という表題の諮問が審議会に対してございまして、その諮問に対して、平成21年2月16日に審議会から教育長に答申として提出されたものです。

次に、3の答申内容ですが、表題は「未来を託す子どもたちへ今こそ「学び返し」の実践を～地域・家庭からの第一歩～」となっております。諮問された三つの課題すべてに共通するものとして、①親子の絆を深めること、②親や社会が子どもたちの存在価値（自己有用性）を認めることが基本的に重要だとしております。

まず第1の課題としまして、家庭教育支援ですが、①親子双方への教育支援、②親のための教育支援、③子どもの家庭教育支援がそれぞれ必要とされております。ともすれば地域から孤立しがちな新住民の若い親世代に対しまして、地域社会が積極的に手を差し伸べて、親子の共通の話題となるような機会や場所を提供すべきとしております。

裏面をご覧ください。次に、第2の課題として、青少年の居場所づくりですが、①青少年へ

の適切な施設の提供と、②青少年の心のよりどころの両面が必要としておりまして、市が提供する施設や事業を通しまして仲間づくりを進め、また、仲間や親や地域から自分が必要とされているという実感が持てるようにすることが重要であると提言されています。

第3の課題として、学校と地域の連携ですが、保護者、先生、NPO、あるいは地域の人材をそれぞれにつなぐ役割を果たす地域の担い手、ファシリテーターが、今、強く求められているとしています。

5として最後に、以上の三つの課題を解決するためには、家庭、青少年、そして学校に対する支援策を実行するためのシステムとネットワークをつくることが重要であるとしています。

以上の答申内容を踏まえまして、市としましては、第1期、第2期生涯学習審議会の提言、そして中間答申、答申内容もあわせまして、第2次生涯学習推進計画（案）を策定したところです。今後、計画の具体化に向けまして様々な施策に取り組むときにも、この答申の中身、内容を生かして進めてまいりたいと考えております。

以上で報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。第3期の府中市生涯学習審議会の答申でございますが、何かご質問ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） この答申を、答申で終わらないように、ぜひ参考にして、具体的な事業計画といえますか、役立てていただければなと思います。内容は大変よくまとまっているので、そこで安心せずに、これをどのように生かすかということまで、力を抜かずについていただければなと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ほかに、いかがでございましょう。

「学び返しの実践を」と書いてございますので、サラリーマン生活であるとか、仕事の生活を終えられた方、または、今、お仕事中でも、余裕のある方が参加していただけるのではないかと思います。具体的に、例えば家庭教育支援の部分で、親のための教育支援のところで、いわゆるおばあちゃんの知恵袋という文言もございますが、このように子育てが終わった方がこういうプログラムに参加して、積極的に、今、子育て中の親を支えていただくというのは、本当に大変重要なことだと私も思っております。

先ほど谷合委員もおっしゃったように、具体的にどのぐらいの方が、どういうプログラムに参加していただいて効果を上げるかということが、これからの課題だと思いますので、ぜひ、この報告書、答申にございました内容が、内容以上に具体的にになって行われることを願っております。

よろしゅうございましょうか。ありがとうございます。それでは、報告・連絡（6）につきまして了承いたします。



◎第2次府中市生涯学習推進計画（案）について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡（7）、同じく生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは、報告・連絡（7）第2次府中市生涯学習推進計画（案）について報告いたします。資料7をご覧ください。計画本体は、お手元に95ページまでありますが、大部になりますので、A4表裏の概要に沿ってご説明申し上げます。

まず1の趣旨ですが、平成11年3月に策定しました府中市生涯学習推進計画の計画期間が

平成20年度をもって満了することに伴い、引き続き本市における生涯学習に関する施策の総合的かつ計画的推進を図るため、第2次推進計画を策定するものです。

次に、2の概要ですが、(1)のこれまでの取り組みにつきましては、記載のとおり、国や東京都の最近の動向、第1次推進計画の成果、第2期から第3期までの生涯学習審議会の答申内容、そして市民意識調査の結果など、生涯学習をめぐる市の取り組みの現状を分析したものです。

次に、(2)の基本的考えですが、①計画の目的と②位置づけは記載のとおりでして、③計画期間といたしましては、平成21年度から平成30年度までの10年間としております。そして④計画の基本理念として、「学び返し」を通じた地域教育力の向上としております。これは、第1次計画が学びの機会を拡大することに重点を置いていたのに対し、むしろ学んだことを地域に生かす機会の拡充や、地域貢献に大きく重点を移すもので、今回の計画の最も大事なコンセプトになっております。

次に、(イ)の計画の基本目標ですが、①学んだことを地域で生かす～「学び返し」の支援とネットワークの整備、②ジュニア・ミドル・シニア世代を相互につなぐ学習機会と居場所づくり、③地域教育力を高めるための新しい学習の支援、④「学び」「学び返し」を迅速につなぐ情報提供・相談体制の拡充、⑤推進体制の整備となっております。

次に、(3)の生涯学習推進の重点施策ですが、以上の目標を達成するために必要となるのは、市と市民、地域、各関係機関などの連携、そして協働であるという認識から、(ア)ワークショップ、すなわち発表・活動・交流の場の充実、(イ)生涯学習サポート、学習活動の支援・相談・情報提供の創設と推進、(ウ)生涯学習ファシリテーター、すなわち地域の担い手、推進役の育成と活用の三つの施策を掲げております。

このイメージとしましては、計画本体の24ページをご覧いただきたいと思います。24ページに図が載っております。雑駁に申しますと、今まで学習者としてのみ位置づけられていた市民の方々から、今後は学習サポーター、あるいは学習ボランティア、それからファシリテーター(地域の担い手)、あるいは生涯学習の進行役、推進役が輩出されるように、研修の機会や養成講座、いろいろな活動、そして積極的に需要と供給のマッチングを図りまして、活動の機会をつくっていききたいという施策であります。

最後に(4)生涯学習推進の基盤強化と事業体系ですが、記載のとおりですけれども、本体22ページをご覧ください。22ページに表がありまして、この施策の体系図の表をもとに、大項目、中項目、小項目とありますが、全部でこの小項目の下に事業がかかわっております。うち新規事業は11事業で、この中に先ほど重点施策で言いました生涯学習サポート業務の進捗、あるいはその研修、養成講座などが入っております。

以上の計画案を踏まえまして、市としましては、各事業の取り組みを各主管課で具体的に推進してまいりたいと考えております。また、今後、定期的に各主管課に1年ごとに照会するなどして、計画の進捗状況を確認しながら進めてまいりたいと思います。

以上で生涯学習スポーツ課の報告を終わります。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。第2次の生涯学習推進計画でございます。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 先ほどの意見と重複しますが、この本編24ページの図の中に、地域ファシリテーター、またはボランティアやNPO、自主グループと書いてありますが、この辺をぜひ次回は、具体的にとらえた個人名であったり団体名であったりというものが入っているような資料を見せていただけるように、具体的に動いていただければと思います。社会資源としても、地元の学校、どこの学校であるかとか、公的機関が何、企業はどこというような、具体的に動いていただける方たちを、この表で目で見えるようにしていただければと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょうか。

一つよろしいでしょうか。計画そのものは、とても重要なことがいっぱいあるわけなのですが、ここでキーになるのは、先ほど説明の中にもあった需要と供給のマッチングということだと思います。教えてほしい人がいて、教えたがい人がいるのだけれども、それがつながらないためにうまくいかないということがあるので、その辺のところは、例えば市のどこの部署が中心になってやるのかというのを、お聞かせいただきたいと思いますが。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 今回の計画を推進する中で、新規事業11あると言いましたが、生涯学習スポーツ課でサポートしながら推進したいと。従来、一つはリーダーバンクというものをつくっておりますが、それは指導者、あるいはサポートできる方の名簿を公表して、こういういろいろなことができますよというメニューを示しただけで、そのマッチングまでやっていなかったわけですね。それを発展させまして、需要があるところに、それができるという方を紹介するようなサポート体制を、平成21年度検討していきたいと生涯学習スポーツ課企画係で考えております。

また、従来から職員に関しては、出前講座という形で、希望を募って、そこに職員が直接行って、説明とか講演をしていくという形がありますので、それなどをモデルにしながら、そういう需要と供給のマッチングを検討してまいりたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。このマッチングを最初にやる段階だと、市民の方だとちょっと難しいかなと思うのですが、そのためにそういう基礎をつくっていただけると、こういうことというのは企業であるなり、市民の方のボランティアのところで引き継いでいけるように思いますので、ぜひそれを実施していただければと思います。

ほかに何かございますでしょうか。

それでは、報告・連絡（7）につきまして了承いたします。



◎企画展「山水に遊ぶ——江戸絵画の風景250年」について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（8）でございます。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） 美術館から企画展につきましてご報告いたします。

平成21年3月20日（金）から5月10日（日）まで、企画展「山水に遊ぶ——江戸絵画の風景250年」を開催いたします。江戸時代は、画家たちの個性が花開いた時代で、伝統の山水画にも多彩な趣向が試みられ、その様子は百花繚乱といった感があります。本展は全国から集結した江戸絵画を代表する画家の傑作100点で構成し、思い思いの景色をつくり上げた画家たちの楽しみ、そして描かれた風景に遊んだ江戸の人々の楽しみに迫ります。特に、曾我

蕭白の山水画の傑作として知られる重要文化財「月夜山水図屏風」や、人気画家の伊藤若冲の「石灯籠図屏風」など、前期後期と展示替えをする作品もございます。

なお、4月5日（日）、NHK教育テレビの「日曜美術館」の本編で曾我蕭白が、またアートシーンのコーナーで本展が放映されることとなりました。毎年、春の展覧会の恒例となりました、展覧会を見ながら探検隊ワークシートのクイズに挑戦するイベント「山水探検隊！」を初め、展覧会講座や春休みスペシャルさくらオープンテラスなど、気軽に楽しんでいただける多くのイベントを予定してございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。何かご質問ございますでしょうか。

直接この展覧会ではないのですが、今年度でしたでしょうか、今の館長さんのミニレクチャーであるとか、それから会員の方をご招待してオープニングというものがございますよね。非常に会員の方も積極的に参加していただいたと思いますが、今年はそのような計画はございませんでしょうか。

○美術館副館長（石井順子君） 特に展覧会は、初日にオープニングということでレセプションをやる機会が多いのですが、全部の展覧会では催さないのですけれども、特に平成21年度はディーター・ラムス展、それから市制施行55周年記念のターナー展、こちらのときにはレセプションを計画したいと思いますので、メンバーシップの方々にも年に1回ぐらいはご招待申し上げたいと考えております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしく願いいたします。

ほかにもございますでしょうか。

それでは、報告・連絡（8）につきましたして了承いたします。

◇

◎教育課程について

○委員長（久芳美恵子君） その他でございますが、ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○統括指導主事（花田 茂君） 教育課程についてご報告させていただきます。

平成21年度各小・中学校の教育課程でございますが、幼稚園3園、小学校22校、中学校11校の教育課程届につきまして、受付事務を終了させていただきました。今後につきましては、4月の教育委員会定例会においてご報告させていただくということでございますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ご苦労さまでございます。

◇

◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） では、教育委員報告に移ります。お願いいたします。

○委員（北島章雄君） 北島より報告させていただきます。

3月4日、教育委員会表彰式へ出席いたしました。出席した生徒たち、表彰をいただいて、とても励みになったのではないかなと思います。

3月18日、矢崎幼稚園の第39回修了式へ出席いたしました。卒園生は70名だったでし

ようか。さきに録音した「大きくなったら」という子どもたちの夢を流しながら、園長先生より修了証書を手渡されたわけでございます。またそれを保護者の方に園児たちが渡していて、とてもほほえましく、またお母さん方も感激されておりました。また、卒園生全員でお別れの言葉を上手に大きな声でできていたなと思いました。

3月19日に、第三中学校の第48回の卒業式へ出席いたしました。卒業生は173名。在校生の送辞、その在校生がまた合唱し、卒業生の答辞、そして卒業生の合唱、そして最後に全員合唱で「大地讃頌」を歌っていました。卒業生、保護者の方々に、とても思い出に残るすばらしい卒業式だったと思います。

以上です。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告します。

北島委員と同じく、3月4日の教育委員会表彰に出席いたしました。目の前で表彰を受ける子どもたちの表情を見ていますと、やはり褒められるということが、どれだけその子たちにとって力のもとになるのだろうかという感じの表情が、本当に見ていて、ああ、子どもは褒めて育てなければいけないなということをつくづく思いました。規定の中で選ばれた個人や団体だと思えますけれども、ぜひこういう褒めてあげられる子がどんどん増えるような方向で、こういう褒める機会を増やしてあげられればなと感じました。

それから、これは教育委員としてはではないのですが、14日に南武線の新駅、西府駅の開業記念式典がございまして、式典には出席せず、近隣からのお祝いに各町が太鼓を出しまして、太鼓パレードに参加いたしました。この時期に、もともと計画されていたこととはいえ、こういうちょっと景気の悪い時代に新しく駅ができるというのは、本当に珍しいといったらおかしいですけども、これからは、そうはないのではないかなと思いつつ出席をしました。帰りがけに近くの熊野神社の上円下方墳の近くを通過して帰ったのですが、新駅で降りて、この熊野神社の上円下方墳を見に来てくださる方が、日本中からきつと多くお越しいただけるのではないかなと感じながら、どちらも見てきたということをお報告させていただきます。

それから19日、第十中学校の卒業式に出席いたしました。第十中学校は2クラスということで、卒業証書授与式は2クラス分ということで早く終わったのですが、各担任の先生が、本当に目に涙を浮かべて卒業生を送っていた姿と、やはり最後の合唱のときに、男子の生徒も目に涙を浮かべておりました、私も胸が詰まるような思いをしたのですが、やはり中学校で出会った友達というのは、その中の数名は本当に一生つき合っていく友達になるだろうなということを、自分のことを振り返っても思い出しまして、卒業式というのは1年間の行事の中で本当に一番いい行事だなということをつくづく感じながら出席してまいりました。

以上です。

○委員（新海 功君） 教育長より絞って報告をさせていただきます。

1点目は、平成21年第1回府中市議会定例会についてでございます。会期が2月24日から3月23日、28日間で開催されました。一般質問は2月25日（水）と26日（木）にありました。それから文教委員会が3月2日（月）、そしてこの3月市議会はいわゆる予算の議会でありまして、予算特別委員会が3月12日（木）、3月13日（金）、それから16日（月）、17日（火）、18日（水）と5日間持たれました。そして23日（月）に本会議が開かれて終わりました。

一般質問等の詳細については、後ほど協議会で両部長より報告があるかと思いますが、私の方から文教委員会のことについて報告をさせていただきます。附議事件の中で教育委員会関係が、陳情第3号「学校給食費の値上げはしないでください」という陳情、これは府中学校給食を考える市民の会より出されたものです。それから陳情第5号「学校給食費の値上げをしないことを求める」陳情、これは新日本婦人の会府中支部より出されたものです。これが一括審議されまして、文教委員会では不採択、そして3月11日（水）の本会議でも不採択となりました。それから協議事項については、報告19「平成19年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検評価について」、このことについて報告をし、了承をされました。

次に2点目ではありますが、3月3日（火）の午後、岐阜県瑞穂市より川崎翁顕彰会の方々が本市に見えられました。これは川崎平右衛門展に関係して来られたわけですが、郷土の森博物館に午後2時ごろ到着されました。市長、それから府中市の関係団体の方々と共にお出迎えをしました。瑞穂市長さん初め34名の方々でした。郷土の森博物館の常設展示ギャラリーをご覧いただいたり、それからDVD映画で「川崎平右衛門」があるのですが、これを一緒に見ていただいたりしました。府中市押立囃子連による演奏も見ていただいたりしたところです。

それから、その夜、一行の方々は生涯学習センターにお泊りいただきましたので、レストラン「ひばり」において歓迎交流会が開かれました。これがなかなか盛り上がりまして、今後両市の交流を深めていきたいという機運になったところです。したがって、そうした市民サイドといますか、そこらから盛り上がって行って、今後交流が深まっていくのではないかなと思っているところです。例えば学校間の交流なども進めていけるといいというような声も出たところです。「時代が求めた才覚の人」という今回のキャッチフレーズによる展示会において、川崎平右衛門という人物は本当に知れば知るほど、立派な業績を残した人物なんだということがわかりましたし、また、瑞穂市の方々からいただいた情報によって、さらにそれが強化されたという思いがしたところです。

3点目は、3月4日（水）の3時半から開かれました平成20年度府中市教育委員会表彰式でございます。これにつきまして、小・中のバランスを考えたとき、小学生が圧倒的に多くて中学生が少ない。それから男女のバランスを考えたとき、女子が多くて男子が少ない。これは毎年、同じような傾向かなと思うのですが、このことをどう考えていったらいいのかと思ったところです。また、まだまだ表彰に値する事例が埋もれているのではないかと、そのような課題も感じられたところです。

4点目は、先ほど谷合委員からありました3月14日のJR南武線西府駅の開業記念式典のことです。前日からちょっと荒れ模様でありまして、式典が始まる10時ごろにも傘を差さないといけない場面と、何とかしのげる場面と、そういった状況にありました。主催者のあいさつがあつて、来賓祝辞、テープカット、くす玉の開花があり、その後で府中第五小学校の音楽クラブによる演奏がありました。鉄道にちなんで「A列車で行こう」というジャズが演奏されました。第五小学校の児童が立派に演奏しておりました。それからイベントとして鏡開き、パレード、ステージ、模擬店やPRブースなど、そういったものがあつたわけではありますが、特にステージでは午後から先ほどの府中第五小学校の音楽クラブが吹奏楽の演奏、それに続いて府中第十中学校の吹奏楽部が吹奏楽の演奏をいたしました。そのほか、大太鼓も相当出ていま

したし、山車もあつたりと、みんなで盛り上げた開業記念式典だったと思います。

特に、第五小学校の子どもたちの登下校の通学路や、駅の北と南をつなぐ地下道、そうした通学路の安全がどう図られているかということも気になったところなので、指導室長と校長先生の3人で確かめてきたところです。

5点目は3月19日(木)、府中第六中学校の第42回の卒業証書授与式に出席しました。今年の3年生は、キャリア教育即ち進路指導で、3年間学んだ生徒です。そういう思いでも見たところですが、卒業式の生徒が受け持つ別れの言葉だとか、全校合唱だとか、そういったことの構成がすごいなと思いました。ということは、進路指導を3年間勉強してくる中で、表現力がついたり、あるいは組織立ってみんなで取り組んでいくという、そういう姿勢が育ったのだと思ったところです。今年のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲になったアンジェラ・アキさんの「手紙」を一番最初に歌って、次によく卒業式で取り上げられる曲を歌いました。その間に言葉を織り込んでいました。先生方の指導もあつたのだと思いますが、子どもたちが子どもたちなりに創造的に組み立てていました。それから最後に、卒業式の今の定番になっている「旅立ちの日」、この合唱で終わったわけですがけれども、それが大変によかったですね。それから生徒たちが受け持ちの先生や3年の先生方に語りかける場面がありました。そこで男の子が声を詰まらせるのです。それこそ涙を流さんばかりに先生方にお礼を言っている姿がありました。それは非常に感動的でした。先生方も教職冥利に尽きるといったものではなかったかなと思いました。

以上です。

○委員長(久芳美恵子君) それでは、久芳から2点ほどご報告いたします。

3月3日、これは教育委員ということではなかったのですが、郷土の森を訪れました。「時代が求めた才覚の人・代官川崎平右衛門」を拝見いたしまして、そして梅林を散策いたしました。川崎平右衛門のポスターもチラシも非常に工夫されているのですが、展示もとても工夫されたものでした。特に、入口のところでおもしろいなと思ったのは、八代将軍徳川吉宗のときにベトナムから象が輸入されたようなのです。その象と川崎平右衛門がどういう関係にあるかという、象のふんから薬をつくったのだそうです。そのようなエピソードを掲げて興味を持たせたり、それから彼の業績をイラストを使って非常にわかりやすく説明してございました。これは子どもたちも、それから川崎平右衛門にそれほど興味がない方も、とてもよくわかったのではないかなと思われました。

ホール展示の方は非常に文章等が多くて、本当に興味・関心がないとある意味では難しい内容だったのですがけれども、そこの中でも工夫がちらほら見られて、平右衛門が植えた桜、小金井堤桜ですか、これが富士三十六景の武蔵小金井という浮世絵があつて、その浮世絵も展示されていたりとか、それから長良川が増水したときに川が逆流すると。その逆流を抑える門扉の設計も彼がして、その模型も置いてあるという、非常に展示の工夫がなされていて、私としては非常に行つてよかったな、おもしろかったという印象がございました。

先ほど教育長の報告にもありましたように、岐阜県瑞穂市からのお客様がバスで到着なさつたときに、ちょうど私が帰るところですれ違ったのですが、100年以上も経っているのにこれだけ人から慕われるというのは、本当にすごい人だったのだなということを改めて思いました。

梅林でございますけれども、曇天の肌寒い日で、この日は700人ぐらいしか来場していないと伺って、700人も来ているのかと思ったら、土・日は9,000人以上、来園者があったそうでございます。人はちょっとまばらだったのですが、遅咲きの梅が満開で、私の好きな梅の紅千鳥とか月影という梅が満開でございまして、大変幸せでございました。いつ行っても園内がきれいに整備されていて、とても気持ちのよい思いがいたしました。本当に携わっている方々のご努力がありがたいなと思いました。

このとき、ちょうど帰りがけで、私がメイン通りを歩いているときでしたけれども、70代の男性の方が3人連れで、男性が3人連れというのは珍しいので、私もちらっと見ましたら、1人の方がどうも府中の在住の方らしいのですね。旧の郵便所を指して、あれはどここの角にあったとか、それから島田屋の店蔵で、立派な建物だろうというような説明を誇らしげに2人の方にしていました。それを見まして、ああ、郷土の森は市民が憩う場だけでなく、市民以外の方にも誇れる場所になっているのだなというのを感じまして、とてもうれしい気持ちで郷土の森を後にいたしました。

3月4日は教育委員会の表彰式でございましたが、委員さんのおっしゃったことと私は全く同感でございます。

3月19日、卒業式は第一中学校へ行かせていただきました。印象に残ったことは、卒業証書授与のとき、大体クラシックなどが流れることが多いのですけれども、今年第一中学校の合唱祭、卒業生として最後の行事ですが、その合唱祭の合唱の録音がずっとBGMで流れているんですね。生徒たちにとっても印象的なものではなかったかなと思いました。

もう一つ、合唱のときに、3年生が台のところに並んで歌ったのですが、男子がよく口を開いていたというのが、とても印象的な部分としてありました。そしてもう一つ、女の子がよく泣いていました、というとおかしいのですが、目に涙を浮かべるというのではなくて、本当においおいと号泣している子がいて、その子がある曲のときに真ん中で指揮をする子だったんですね。だから、指揮をしながら、おいおい泣きながらやっているというので、もうその彼女を見て、本当に人前で大っぴらに泣ける、その感性と若さに感動いたしました。本当にすごいな、若いってこういうことだなと思ったところです。

あともう1点、校長先生がご退職の年でございまして、その式辞も心に残りました。自分の人生を他人に委ねるなという、それは宮崎駿さんがおっしゃった言葉だそうですが、それを生徒に贈られたのです。宮崎さんが今のように売れない時期に、世間とか時流に流されないで、自分の思いを貫いた結果、今のアニメで大成功しているという、その宮崎さんの生き方を話されて、そして、易しいことではないけれども、卒業生みんなにそうあってほしいと訴えていらっやいました。校長先生の願いが本当によく伝わってきた式辞でございました。大変感動した卒業式でございました。

以上でございます。

それでは、これもちまして平成21年第3回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。どうもありがとうございました。



午後3時24分閉会